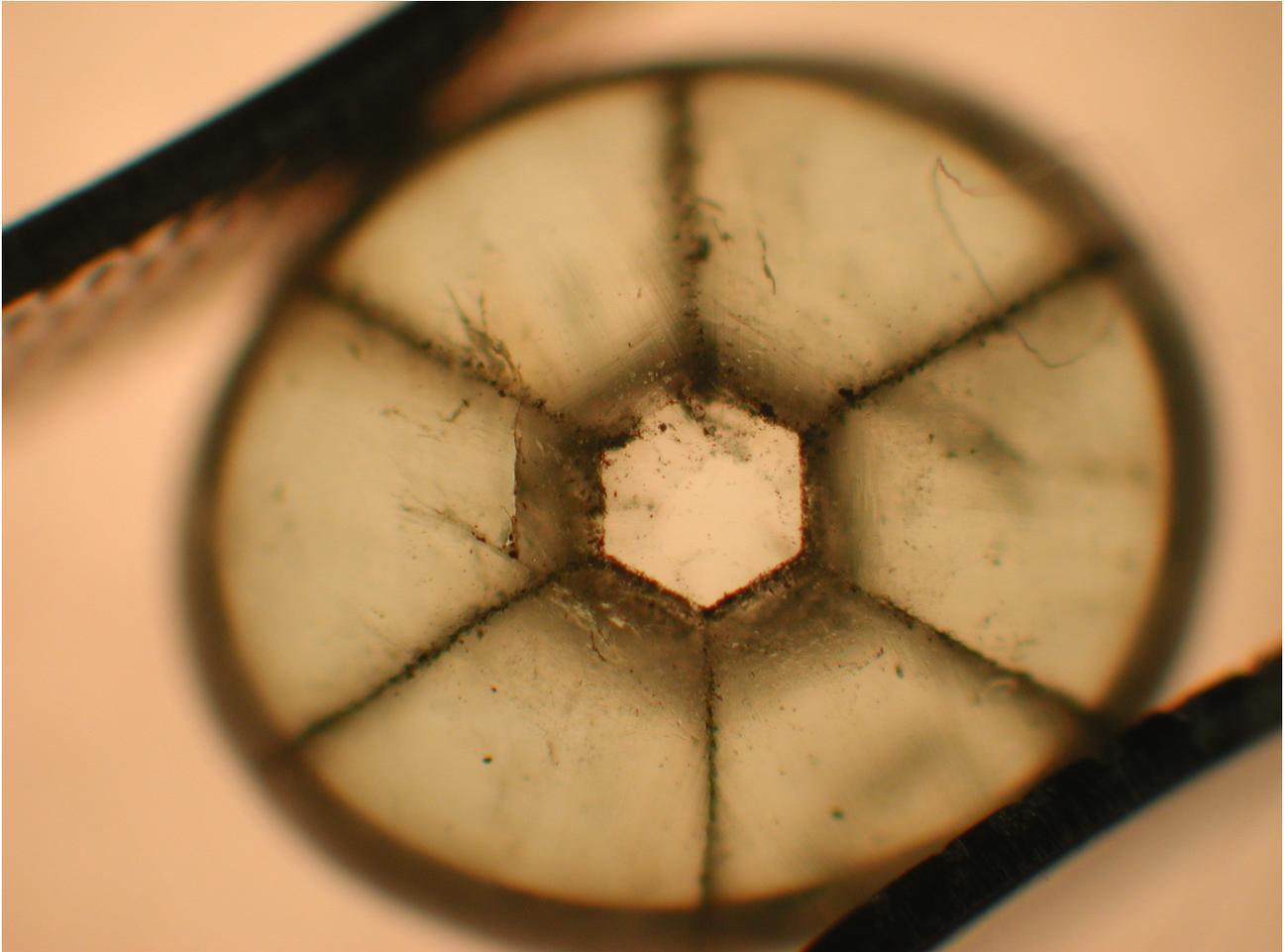


## 「トラピッチエメラルド」



撮影・文： 高橋 泰（倍率×40で撮影）

トラピッチ（トラピッチェ）はサトウキビ絞り機の歯車のことで、外観が似ていることから呼ばれる結晶形態の呼称である。ルビーやサファイア、トルマリンなどにも見られるが、最初に名付けられたのはコロンビア産のエメラルドであった。知名度は上がったが、未だに成長過程は詳しく解っていない。トラピッチエメラルドには2つの結晶形態があり、歯車形と写真の様に歯車の隙間まで結晶が成長したタイプだ。歯車形は研磨できないので、宝飾用にカットするのは後者の方である。カボションカットにするためガードルを丸めてあるが、元来エメラルドの結晶は六角柱状である。トラピッチタイプの多くは中心に核となる結晶があり、その周囲に新たな条件で成長した様子が見られる。写真の様に透過光で見ると、核と周囲の色もかなり異なっているのが解る。